

2019年注射薬・抗がん薬（無菌調製）実技研修会

開催日時： 2019年1月20日（日）

開催場所： 日本薬科大学 研究実習棟

研修内容： ①注射薬・TPN等による無菌調製に関する講習

『感染症対策について』 草加市立病院 感染制御認定薬剤師 本石寛行 先生

『適切な手技について』 自治医科大学附属さいたま医療センター 抗菌化学療法認定薬剤師
立石直人 先生

②注射薬・抗がん薬無菌調製に関する講習

『曝露対策について』 埼玉県立小児医療センター がん専門薬剤師 中山季昭 先生

『適切な手技について』 草加市立病院 がん薬物療法認定薬剤師 伊藤剛貴 先生

③実技研修TPN及び抗がん薬（無菌調製）混合調製

『基本的な手技』 自治医科大学附属さいたま医療センター がん薬物療法認定薬剤師
鈴木栄 先生

『基本的な手技②』 羽生総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 川田亮 先生

『閉鎖式接続器具』 獨協医科大学埼玉医療センター がん薬物療法認定薬剤師
相川晴彦 先生

『抗がん剤調製』 戸田中央総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 畠山朋樹 先生

『麻薬調製』 上尾中央総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 国吉央城 先生

『TPN調製』 さいたま赤十字病院 感染制御認定薬剤師 伊賀正典 先生

総合評点
3.6
(4件尺度)

研修者数

薬局	病院	その他	無回答
19	19	0	2

性別と年代

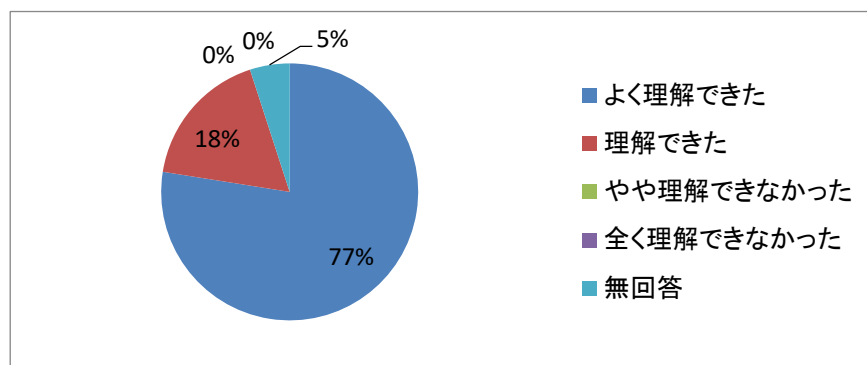
男	女	無回答
13	25	2

20代	30代	40代	50代	60代	無回答
13	10	9	7	0	1

講義①

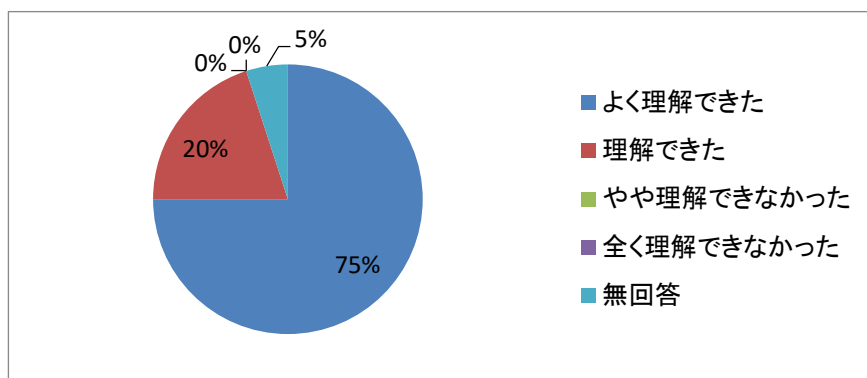
注射薬・高カロリー輸液による無菌調製に関する講習—「感染対策について」

	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	31	7	0	0	2	3.8



注射薬・高カロリー輸液による無菌調製に関する講習—「適切な手技について」

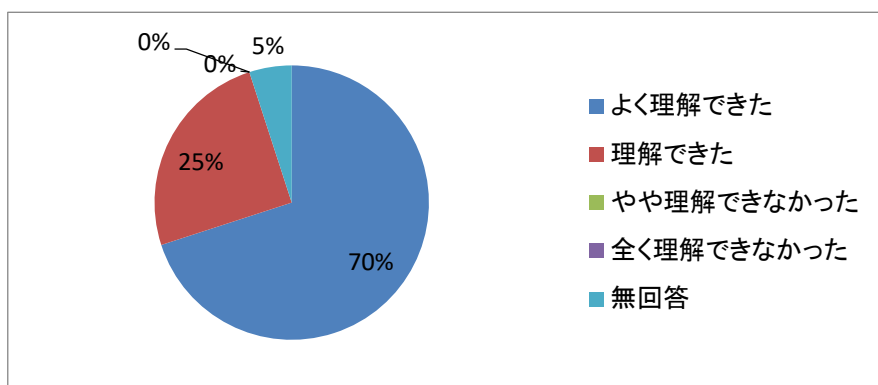
	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	30	8	0	0	2	3.8



講義②

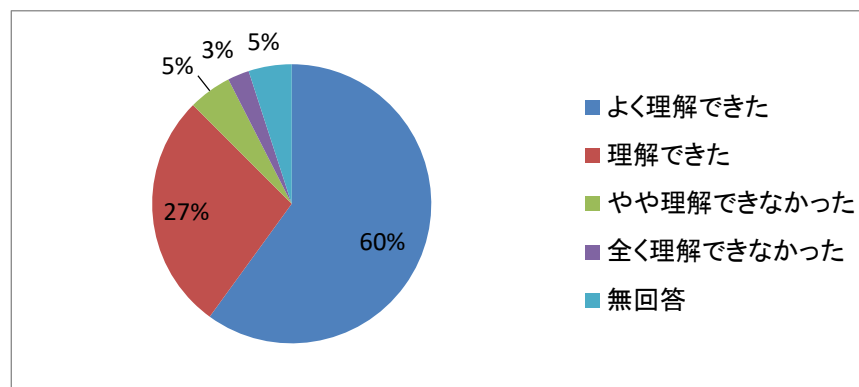
注射薬・抗がん薬無菌調製に関する講習—「曝露対策について」

	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	28	10	0	0	2	3.7



注射薬・抗がん薬無菌調製に関する講習—「適切な手技について」

	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	24	11	2	1	2	3.5

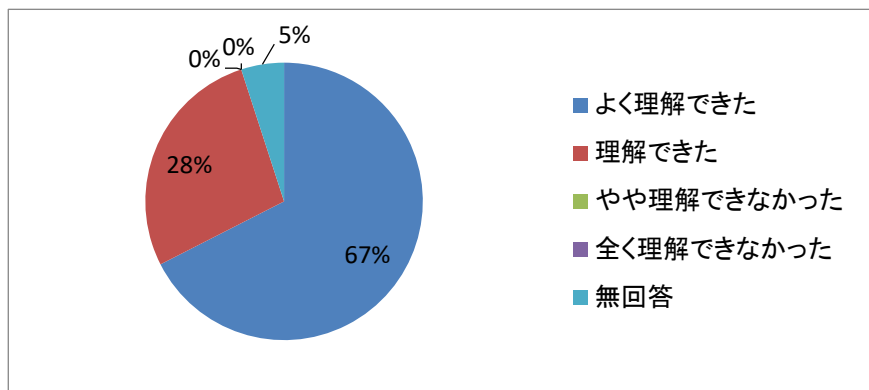


実習研修

「注射薬・高カロリー輸液による無菌調製に関する講習『感染対策について』

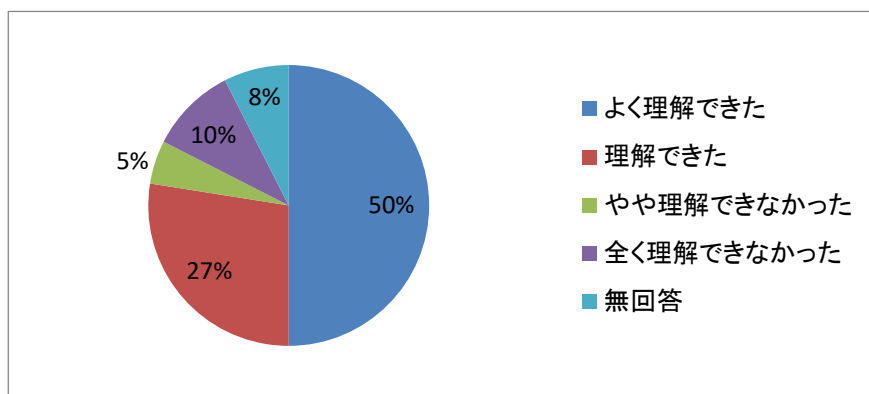
	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
--	---------	-------	------------	------------	-----	----

	27	11	0	0	2	3.7
--	----	----	---	---	---	-----



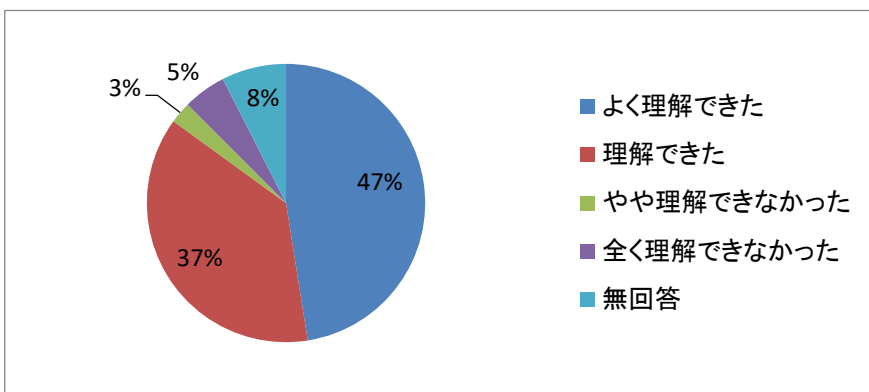
「抗がん薬の手技について」

	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	20	11	2	4	3	3.3



「麻薬の手技について」

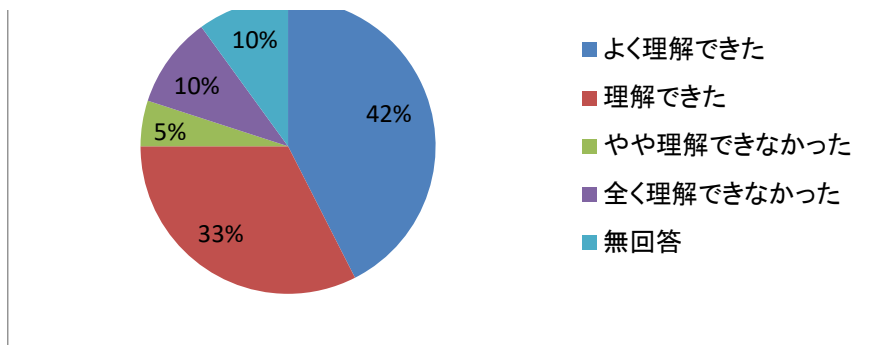
	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	19	15	1	2	3	3.4



「CSTDの手技について」

	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	17	13	2	4	4	3.2

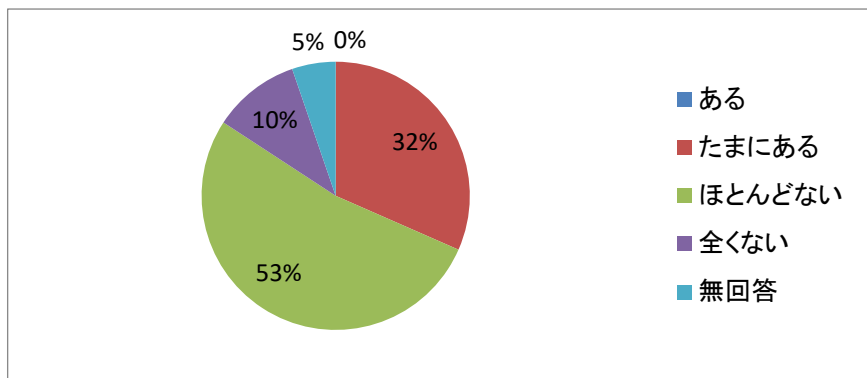




薬局のみ

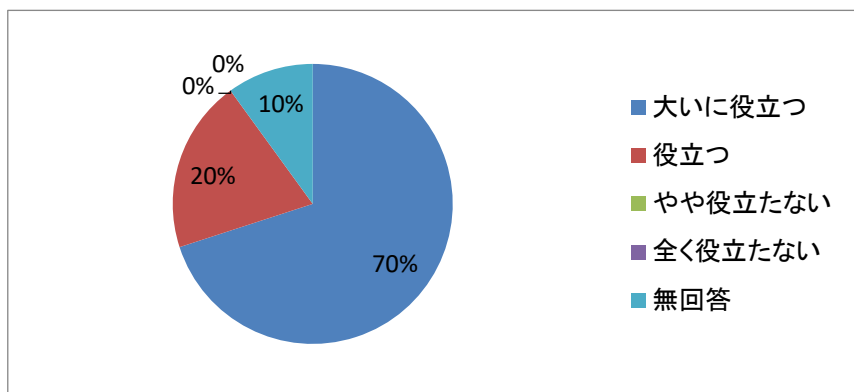
レジメンを知る機会の有無について

	ある	たまにある	ほとんどない	全くない	無回答	平均
	0	6	10	2	1	



本研修会は今後の業務に役立つか

	大いに役立つ	役立つ	やや役立つ ない	全く役立つ ない	無回答	平均
	28	8	0	0	4	3.8



アンケート意見

取り上げてほしいテーマについて

褥瘡について	1
病院で行われる化学療法と外来に出される抗がん剤の関係	1
抗がん剤調製、薬剤の各論、特徴ある薬剤調製方法、投与時注意、副作用対策	1
継続した抗がん剤調製の勉強会	1
在宅医療への薬薬連携、無菌と麻薬注射剤について再び	1
医療用麻薬、PCA等について	1
麻薬の基本、切替、流速、増量等	1
病院・薬局の薬剤師合同で、患者に対する関わり方（共通意識）を養えるもの	1

化学療法のレジメンについて、乳がん・大腸がん	1
配合変化、手技、フラッシュするもの、側管投与するもの、ルートについて（看護領域）病棟で聞かれた時の対応	2
来年度も同じようなものをしてほしい	2
本研修会で気づいたこと・質問・感想	
合同の勉強会はお互いを知り、お互いの持っている技術をリアルタイムで交歓できるいい機会だった。薬剤師として、患者さんのために仕事ができるように努めたいと思う	1
実践的なテクニック、知識を得ることができたので、とても充実した研修会だった	1
手技については本当に初心者であったが、丁寧に教えていただけてよかった	1
初心者コースを設けてくれたことにより、基本の操作を丁寧に優しく教えていただき、本当にありがたかった。高カロリー・麻薬の調剤をすることはあまりないが、今日学習したことを忘れずに帰ったらすぐに復習したいと思う	1
今後抗がん剤調製にも携わる予定だが、先にCSTDの手技など体験できてよかった。院内採用でない製品についても説明を受けることができ勉強になった。すでにTPN調製は業務で行っているが、エアーの処理等、今後気を付けたい自分の改善点を発見することができた	1
抗がん剤注射系調製の“漠然”とした不安が“知る”ことで少しだけ改善された。ただし、デバイスのコストなども含め、今後の課題もあるので注意していきたいと思う	1
いろいろなメーカーの方に教えていただけたのがよかった。抗がん剤の取り扱いについて知ることができてよかった	1
抗がん剤の調製をする機会はないと思っていたが、患者さんの排泄物等を通して薬局でも曝露に対する意識が日頃から大切だと気づいた。メーカーさんの協力で、実際の製品を複数体験でき有意義だった。今後の業務に活かしていきたいと思う	1
抗がん剤の無菌調剤は安全キャビネットがないとできないことがよく分かった。PCAポンプは機会があれば購入したいと思った	1
東京の在宅医より電話があった。麻薬ポンプが用意できずにいたが、結果として退院できなかったのでこの話はなくなり、横浜の先輩に相談し、自分で理解できず恥ずかしかった。今回の講習で理解でき、次回の処方が出た時に対応ができる自信が少しもて、近所の病院薬剤部の方々に相談していいことが分かり、心強く思った	1
病院薬剤師さんと場を同じくして学べるのがすごく良いと思う。お互いの垣根を取り払って同じ方向を向いて勉強ができるのはとても貴重な時間だと思う。薬局では、なかなか触れることのない器具やポンプ、ルートなど見る機会を作っていただきとても勉強になった	1
CSTDの手技について、メーカーより直接指導してくれたのでよかった。輸液の混注の有無など今後指導してほしい	1
他県からの参加でした。注射調剤は初めてだったが、スタッフの方々の手厚いサポートが本当に助かった。まだまだ勉強が必要だと感じたが、お金を払っても参加したいと思う内容だった	1
抗がん剤の実践では、指導者がつくわけでもなく、自分勝手にやるような感じだったので、もっときちんと手技の指導をしていただきたかった	1